

2011年2月17日

第4回 イービーエス株式会社 倫理審査委員会 議事要旨

日時：2011年2月17日

場所：リーガロイヤルホテル広島

審査委員：土肥博雄（委員長）、加藤寛（副委員長）、今田聡子、道下太英子、小林進

審議議題

1. 検査対象遺伝子の拡充およびそれにもなう検査精度確認のための血液および爪を用いたクロスチェック実施について

議案

爪由来 DNA を用い、①FTO 遺伝子にみられる多型（rs1558902、rs9939609※等）、②ADIPOQ 遺伝子に見られる多型（rs1501299 等）、③ADRB3 遺伝子に見られる多型（rs4994 等）、④UCP1 遺伝子に見られる多型（A-3826G 多型等）、⑤ADRB2 遺伝子に見られる多型（rs1042713 等）、⑥PPAR γ 遺伝子に見られる多型（rs1801282 等）、⑦MC1R 遺伝子に見られる多型（rs2228479、rs885479 等）を、PCR-RFLP 法（Polymerase Chain Reaction-Restriction Fragment Length Polymorphism）またはシーケンシング法およびこれらに準じる方法を用い、高精度かつ迅速にタイピングする体制を確立し、弊社が計画中の各種生活習慣病一次予防推進事業および美容事業に活用できるようにすること。

倫理的観点から特に問題となり得る事項は見出されず、出席者の満場一致で承認となった。

以上